

第 35 回静岡コンテスト 規約

第 34 回規約からの **変更部は青色斜体文字** で記載（軽微な変更部は除く）

- 【目的】 静岡県と全国のアマチュア無線局の友好を深める。 【参加資格】 国内アマチュア局と SWL
- 【主催】 JARL 静岡県支部 【後 援】 静岡県（予定）、静岡新聞社・静岡放送
- 【日時】 **2026** 年 5 月 4 日（**月**/祝）12:00～20:00
- 〔運用時間はバンド毎に、HF バンド：12～15 時、VHF/UHF/SHF：14～17 時、HF ロバンド：17～20 時（※7MHz は 14～20 時）〕
- 【周波数】 1.9MHz～24GHz（WARC バンドを除く。10.1GHz と 10.4GHz は同一バンドとして扱う）
- 【参加部門・種目】 表 1 参照 【交信相手】 県内局：すべての国内アマチュア局 県外局：静岡県内運用局
- 【呼出方法】 電信……県内局：CQ TEST 県外局：CQ S TEST
- 注. 県外局同士の交信は得点になりません。県外局は絶対に CQ S TEST に声掛けしないように！**
- 電話……県内局県外局ともに、CQ 静岡コンテスト ただし、静岡県内運用局は、コールサインの前か後に『静岡県内局』を送出すること。
- 【コンテストナンバー】 県内局：RS(T)+市区町略符号（表 2 参照、ログには略符号で記載）
県外局：RS(T)+都府県支庁ナンバー
- 【QRP 局】 QRP 局（430MHz 帯以下のエントリーする全バンドで、**全交信を出力 1W 以下**で行う。1局でも出力 1W 超過の交信があれば QRP とは認めない）は自局のコールサインのあとに **QRP を示す記号をつけて送出**すること。
移動運用局：JX2XXX/2/QRP 常置場所運用局、設置場所運用局：JX2XXX/QRP
QRP 局はサマリーシートに出力、使用リグを明記すること（低減出力はその旨と出力測定方法を明記 **Q&A 参照**）。
証拠の提示を求める場合があるので、出力を実測して記録を残す、写真を残すなどの処置をしておくこと。
また、自作機の場合は送信機系統図や終段の定格事項などを提示できるようにしておくこと。
QRP 局と交信した場合は、**相手局のコールサインに QRP を明記**すること（明記していないと得点 2 倍は認めない）。
QRP 局との交信のログへの記載は、/Q、/2Q など認める（コールサイン受付の限定された電子ログがあるため）。
- 【得点】 完全な 1 交信につき、1.9～430MHz：1 点、1200MHz：3 点、2.4GHz：5 点、5.6GHz：10 点、10GHz 以上：20 点
一般局は 430MHz 帯以下で QRP 局と交信した場合、その交信の得点を 2 倍（2 点）にすることを認める。
QRP 局は 430MHz 帯以下での交信の得点を 2 倍（2 点、QRP 局同士は 4 点）にすることを認める。
SWL は、交信を受信に置き換える。ただし、県外の SWL にあっては県外局の送信の受信は無効とする。
同一局と同一バンドでの交信は、**電信と電話それぞれ 1 交信ずつ有効**とする。
- 【マルチプレイヤー】 県内局：静岡県内の異なる市区町の数+都府県支庁の数
県外局：静岡県内の異なる市区町の数
- 【総得点】（各バンドで得た得点の和）×（各バンドで得たマルチの和）（種目内の全バンドでなくても参加可）
- 【賞】 参加部門（種目）ごとに、その局数に応じて賞状を贈る。
①10 局以下：1 位 ②11～20 局：2 位まで ③21～30 局：3 位まで
④31 局以上：5 位まで ⑤その他（特に顕著な場合、必要に応じて表彰する場合がある）
登録クラブ対抗（クラブごとに集計した合計得点で競う）：静岡県内 JARL 登録クラブの構成員（SWL を除く）から申告された総得点をクラブごとに集計の上、1 位の登録クラブに賞状を贈る。サマリーの登録クラブ対抗欄にクラブ番号・クラブ名称を必ず明記すること。明記のない場合は構成員であっても集計対象外とする。
SASE（長形 3 号封筒に **140 円切手**を貼り、宛先を記載したもの）**同封の方に参加賞（ペナント）および結果表を贈る。**
- 【賞状発行】 支部大会来場の県内局の部入賞局は会場で表彰し賞状を手渡す。来場しない局と県外局の部入賞局でサマリーシートにメールアドレスを記入した局には PDF 化した賞状データを電子メールで送付する。
- 【ドナー賞】 ドナー指定の要件に該当する方に、ドナーから賞品を贈る。
- 【禁止事項】 細部はホームページ <http://www.jarl.com/shizuoka/> 掲載の『**Q&A**』をご覧ください。
①クロスバンドによる交信、レピータによる交信、デジタルモード（D-Star などを含む）による交信
②JARL 制定コンテスト周波数からの逸脱
③コンテスト中の運用場所の変更（コンテストナンバーが変わらない範囲での移動は認める）
④同一バンドでの 2 波以上の同時発射およびシングルオペの 2 波以上の同時発射
⑤自局の運用情報を Web クラスタなど にアップロードするセルフスポッティングやスポットを依頼する行為
⑥**自局の運用情報を**アマチュア無線を含む各種の手段（電話、携帯電話、メール、インターネット、SNS など）を使って**他者に伝える行為（詳細は Q&A 参照）**
⑦一つのコールサインで複数部門・種目への書類提出
⑧一人のオペレータが複数の異なるコールサインで運用し、書類を提出すること（運用も自粛すること）
⑨その他 JARL 主催コンテストのルール違反（**本規約や Q&A と差異がある事項は、本規約や Q&A を優先する**）
- 【注意事項】 細部はホームページ <http://www.jarl.com/shizuoka/> 掲載の『**Q&A**』をご覧ください。
①マルチプレイヤーのログへの記入は、静岡県の市区町は略符号、都府県支庁は数字のこと。
②郵送ログ（紙ログ）の場合 コンテスト中に作成したログを、その後に電子ログ化する作業を知人などに依頼や助力を求めることは認めるので、**極力電子ログとすること**。交信局数が 50 局を超える場合は必ず電子ログで提出すること（紙ログでの提出は認めない）。
サマリーシートおよびログシートは、A4 版 JARL 様式または同形式に限る（ログシートはバンド毎に分けて記載し、同一バンド内は時刻順に記載すること）。 封筒の表に参加部門・種目コードナンバーを記載すること。

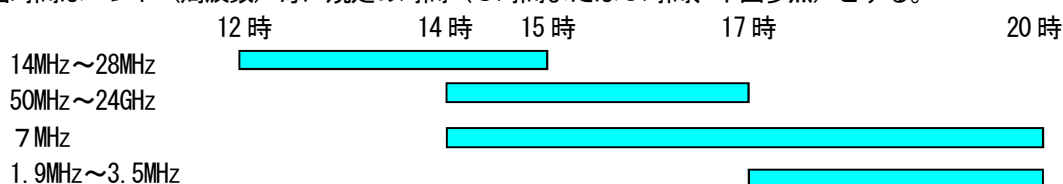
- ③電子ログの場合 **JARL 様式で、旧書式[R1.0]**を原則とし、ログシート部の**マルチと得点は省略しない**で記入すること（新様式では審査に必要な項目に不足があるなどのため）。電子ログは本文記載とする（添付ファイルでも可）。コールサイン表記、ファイル名などの詳細はホームページ 掲載の『**電子ログ提出上の注意事項**』を参照。受付完了した場合には受付完了メールを送り、後日 HP 上に一覧を掲載するので、各自でご確認ください。（受付完了メールは自動ではありません。担当から目視後の返信メールですので、数日はお待ちください）
- ④シングルオペは、コンテスト中の運用に関わるすべてのこと（ログ記入、重複交信・マルチのチェック、設備操作など）を一人で行うものとし、それ以外はマルチオペとする。ただし、コンテスト初心者に対する指導と認められる範囲の軽微なアドバイスは、これを認める。なお、マイクコントロールなど第三者の助けを借りて運用した場合、同一周波数を複数の局で相互に譲り合いながら運用した場合はマルチオペとみなすので、サマリーシートの意見欄にその旨を記載すること。
- ⑤その他 JARL コンテスト規約に準じる。（**本規約やQ&Aと差異がある事項は、本規約やQ&Aを優先する**）
- 【書類提出締切】 **2026**年5月18日（**月**） 消印有効 （電子ログの場合はタイムスタンプで判断）
- 【書類提出先】 郵送：〒426-8691 藤枝郵便局私書箱 73 号 岡本 吉史（JA2JNA） 電子ログ：shizuokatest@jarl.com
- 【問合先】 ホームページ <http://www.jarl.com/shizuoka/> 掲載の『Q&A』を先ずは参照してください。必要に応じて、電子メール：shizuokacont@jarl.com [やむを得ない場合に限り TEL090-3250-0303(岡本)]
- 【個人情報の取扱】 ご提出いただいたコンテスト書類で取得した個人情報はコンテストの案内、結果発表、入賞者に対する表彰、ドナー賞の配送など、静岡コンテストの業務遂行に必要な範囲でのみ利用します。

表1 参加部門・種目と運用時間、コードナンバー

種 目 (注1)		運用周波数と交信時間		部門(県内外の別とモード)とコードナンバー						備考
		バンド(周波数)	交信時間 (注2)	電信		電話		電信電話		
				県内局	県外局	県内局	県外局	県内局	県外局	
シングルオペ	オールバンド (注2)	14～28MHz 50MHz～24GHz 7MHz 1.9～3.5MHz	12～15 時 14～17 時 14～20 時 17～20 時	CMS	CMX	—	—	FMS	FMX	
	HF QRP	14～28MHz 7MHz 1.9～3.5MHz	12～15 時 14～20 時 17～20 時	CHPS	CHPX	—	—	FHPS	FHPX	全交信 出力1W 以下
	(シングル バンド)	1.9MHz	17～20 時	C19S	C19X	—	—	F19S	F19X	
		3.5MHz	17～20 時	C35S	C35X	—	—	F35S	F35X	
		7MHz	14～20 時	C7S	C7X	—	—	F7S	F7X	
		14MHz	12～15 時	C14S	C14X	—	—	F14S	F14X	
		21MHz	12～15 時	C21S	C21X	—	—	F21S	F21X	
		28MHz	12～15 時	C28S	C28X	—	—	F28S	F28X	
		50MHz	14～17 時	C50S	C50X	—	—	F50S	F50X	
		144MHz	14～17 時	C144S	C144X	—	—	F144S	F144X	
	430MHz	14～17 時	C430S	C430X	—	—	F430S	F430X		
	(マルチバンド)	1200MHz 以上	14～17 時	C1200S	C1200X	—	—	F1200S	F1200X	1200MHz～24GHz
	FM ハンディ機	50～1200MHz	14～17 時	—	—	HFS	HFX	—	—	資格限定しない(注3)
SWL (注2)	14～28MHz 50MHz～24GHz 7MHz 1.9～3.5MHz	12～15 時 14～17 時 14～20 時 17～20 時	CSWLS	CSWLX	—	—	FSWLS	FSWLX		
マルチオペ	オールバンド (注2)	14～28MHz 50MHz～24GHz 7MHz 1.9MHz～3.5MHz	12～15 時 14～17 時 14～20 時 17～20 時	CCS	CCX	—	—	FCS	FCX	

注1. 部門(種目)は『県内局 電信の部 シングルオペ オールバンド』、コードナンバーは CMS (半角表現) のようにすること。

注2. 交信時間はバンド(周波数)毎に規定の時間(3時間または6時間、下図参照)とする。



オールバンド、HF QRP 種目のバンド毎の交信時間もこれにならう。SWL の受信時間もバンド毎に同様とする。

注3. FM ハンディ機種目は 50~1200MHz (全バンドでなくても可) の FM で、参加者の資格は限定しない。

出力はハンディ機本体の出力、アンテナは付属アンテナまたはそれに準ずるもの(同軸等で延長するものは不可)、電源は本体に内蔵できるタイプに限る(外部電源は不可、電池の交換は可)。

表2 静岡県全市区市町略符号表 2024. 1. 1 浜松市区割り変更

◎ 区	◎ 市	◎ 町
★静岡市	沼 津 NU	★賀茂郡
葵区 AO	熱 海 AT	東伊豆 HI
駿河区 SG	三 島 MI	河 津 KZ
清水区 SI	富士宮 FM	南伊豆 MN
★浜松市	伊 東 IT	松 崎 MZ
天竜区 TN	島 田 SM	西伊豆 NI
中央区 CO	磐 田 IW	★周智郡
浜名区 HN	焼 津 YZ	森 MR
	富 士 FJ	★駿東郡
	掛 川 KK	清水(町) SZ
	藤 枝 FE	長 泉 NM
	御殿場 GB	小 山 OY
	袋 井 FR	★田方郡
	下 田 SD	函 南 KN
	裾 野 SU	★榛原郡
	湖 西 KS	吉 田 YD
	伊 豆 IZ	川根本 KH
	御前崎 OE	
	菊 川 KI	
	伊豆の国 IK	
	牧之原 MH	

ホームページ



<http://www.jarl.com/shizuoka/>

電子ログ提出先



shizuokatest@jarl.com

問い合わせ先



shizuokacont@jarl.com

(参考) 都府県支庁ナンバー

注. 静岡コンテストでは、静岡（18）は使用しない。

宗谷 101	青森 02	栃木 15	富山 28	佐賀 41
留萌 102	岩手 03	群馬 16	福井 29	長崎 42
上川 103	秋田 04	山梨 17	石川 30	熊本 43
オホーツク 104	山形 05	静岡 18	岡山 31	大分 44
空知 105	宮城 06	岐阜 19	島根 32	宮崎 45
石狩 106	福島 07	愛知 20	山口 33	鹿児島 46
根室 107	新潟 08	三重 21	鳥取 34	沖縄 47
後志 108	長野 09	京都 22	広島 35	
十勝 109	東京 10	滋賀 23	香川 36	小笠原 48
釧路 110	神奈川 11	奈良 24	徳島 37	
日高 111	千葉 12	大阪 25	愛媛 38	
胆振 112	埼玉 13	和歌山 26	高知 39	
桧山 113	茨城 14	兵庫 27	福岡 40	
渡島 114				

(注) 北海道・札幌市は石狩地域の区域、沖ノ島、南島、硫黄島は小笠原の区域に含まれる。

(参考) J A R L 主催コンテスト使用周波数帯 その他の周波数はJARL 制定のアマチュアバンドプランによる。

周波数	電信	電話 (AM/SSB)	電話 (FM)
1.9MHz 帯	1.801~ 1.820	1.850~ 1.875	—
3.5MHz 帯	3.510~ 3.530	3.535~ 3.570	—
7MHz 帯	7.010~ 7.040	7.060~ 7.140	—
14MHz 帯	14.050~ 14.080	14.250~ 14.300	—
21MHz 帯	21.050~ 21.080	21.350~ 21.450	—
28MHz 帯	28.050~ 28.080	28.600~ 28.850	29.200~ 29.300
50MHz 帯	50.050~ 50.090	50.350~ 51.000	51.000~ 52.000
144MHz 帯	144.050~144.090	144.250~144.500	144.750~145.600
430MHz 帯	430.050~430.090	430.250~430.700	432.100~434.000

1.9MHz 帯の追加、50MHz 帯の周波数変更は 2020. 12. 3 より適用する 2023. 9. 25 JARL バンドプラン変更